

大和心

伊丹市立総合教育センター
所長 木下 誠

しきしまの^{やまとこころ}大和心を ^{ひとと}人間はば
朝日に匂う ^{やまざくらばな}山桜花
(本居宣長)



人も街も木も一斉に新しい活動を始める「春」がやってきました。春といえば何と言っても「桜の花」です。今年は、日米友好の架け橋として、伊丹産の台木に東京荒川堤の苗木を接木した桜が米国ワシントンに寄贈されて100周年を迎える記念すべき年でもあります。「山桜」といえば、私には、若い頃の原体験とも重なって忘れられない句があります。それが上の句です。

私は、新渡戸稲造氏の『武士道』（明治33年、英文初版出版）を通して、この句に出会ったのですが、新渡戸氏は、この著書の中で鎌倉時代から江戸時代までの日本人の「生き方」や「立ち居振る舞い」を世界に紹介しています。この書は、当時発刊されるや否や欧米でベストセラーとなり、日本人のすばらしさを世界に知らしめることになりました。『武士道』とは、鎌倉時代以降、日本人の行動基準、道徳基準として定着してきたものですが、私もこの書で紹介されているその時代を生きた日本人の「生き方」や「立ち居振る舞い」に深い感銘を受けました。

本居宣長は、「大和心」（日本人の精神）を「桜の花」と表現しています。古来から、桜は、「色彩や香りに気品があり、散りぎわが潔い」ことから、理想的な人としての生き方を桜に重ねているのです。

この他にも、『武士道』には、「大和心」として、「礼儀、誠実、忍耐、正義、惻隠（そくいん）の情」などが紹介されています。「惻隠の情」とは、弱者や敗者への思いやりの心のことです。この書を読んで、「なぜ、明治維新が成功したのか、幕末から明治にかけて西洋へ留学した日本人が尊敬されたのか、アジアの多くの国がヨーロッパ列強の植民地となった時代に日本が侵食されなかったのか」がよく分かりました。江戸時代には、寺子屋等での教育を通して、日本人の識字率が世界最高水準にあったことや、儒教や神道などを通して他のアジアの国々とは比較にならないほど成熟した『文化や品格』が当時の日本人に備わっていたのです。

日本人としての「誇り」を取り戻すために、新学習指導要領では教育内容の主な改善事項として「伝統や文化に関する教育の充実」等が位置づけられ「武道」が必修となりました。伊丹市では、伊丹市ゆかりの「なぎなた」を実施しますが、「なぎなた」を通して、「挨拶やけじめ」をつけるとともに、我が国が育ててきた日本の美德である『相手を敬い、礼節を守る』等の資質をしっかりと身につけてほしいと思っています。

キラッと!ひかる☆ことば

伊丹市では、平成18年度から『ことばと読書を大切に教育』を教育目標として教育活動を推進する中で、着実に言語力が育まれてきています。

今回は、幼児・児童・生徒や教員の挨拶の中から、キラッと光る『心に残る』言葉を集めてみました。

～3月・4月のことばから～

1. 全国高等学校なぎなた選抜大会 (H24.3.24) 「歓迎の言葉」から 伊丹市立伊丹高等学校 平野 恵子さん

(前略)

昨年は3月にあった大震災により、東日本を中心に大きな被害を受け、大会は中止になりました。

私は、昨年度、地元の代表として、出場する予定でしたが、この舞台に立つことはできませんでした。伊丹に住んでいる私にとって、選抜大会が開催されることは当たり前だと思っていました。しかし、当たり前だと思っていたことも当たり前ではなく、多くの人々に支えられていると実感し、すべてのことに感謝しなければならないと感じました。

まだまだ震災の影響が残る中、全国各地より選手の皆さんが、ここ伊丹に集えたことを心よりうれしく思います。(後略)



2. 伊丹市新規採用教職員入所式 (H24.4.2) 代表者あいさつから 伊丹市立西中学校 濱野 洋介 教諭

(前略)

さて、私の尊敬する方が、様々な場面で私に指導くださる中で、いつも口癖のように言っておられる言葉があります。それは、「丁寧に」という言葉です。この短くも単純な言葉を聞く度にいつも何か大切なことを思い出します。人間、日々の繰り返しの中で、慣れや気の緩みが生じてしまいます。しかし、この言葉を聞くと初心に戻り、一つ一つのことを丁寧にやらなければならないと思い知らされます。私たちがこれから

請け負う職務にも同じことが言えると思います。丁寧に授業をし、子どもたちの声に丁寧に耳を傾け、丁寧に話をすることが大切であると思います。(後略)





教育相談



教育相談では、児童・生徒、保護者、教員からの相談を受け付けています。相談の内容によって、「**こころの相談**」「**発達に関する相談**」「**ことばに関する相談**」について、臨床心理士や言語聴覚士など、専門の相談員が対応します。

保護者からの問い合わせは下記のとおりです。

例えば、・・・

「学校へ行きたがらない。」

子ども本人へ：心理士といっしょに遊んだり、会話したりする中で、心の悩みなどに寄り添います。
保護者などへ：子どもにどう接したらよいかといった不安、悩みなどをよく聞き、いっしょに考えます。

「言葉がうまく言えない。」

子ども本人へ：言語聴覚士が、どこでつまづいているのかを言葉のやりとりをしながらみていきます。
保護者などへ：家庭での生活やあそびなどで、工夫すべき点などをアドバイスします。希望があれば、担任等教員も一緒にアドバイスを聞くことができます。

「他の子どもとうまく遊べない。」 「人の話をどこまで理解しているの？」

子ども本人へ：心理士等が直接かかわったり、発達検査などで発達の様子を明らかにし、アドバイスをします。
保護者などへ：子どもの発達の様子について説明したり、生活上の工夫などについてアドバイスします。

《保護者からの申込による相談》

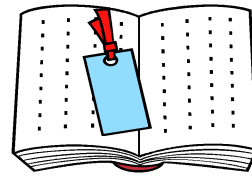
電話相談 772-6171
面談相談（予約）780-2481

	内 容	対 象	実施日	担 当
教育相談	子どもの教育に関する悩みなど ・学校や幼稚園に行くのを嫌がる ・いじめが気になる ・情緒が不安定である ・友達と遊べない 等	市内在住・在学の幼稚園児、小学生、中学生、高校生およびその保護者	月～土曜日 9時～17時	・臨床心理士5名 ・上級心理臨床 カウンセラー 2名 ・臨床発達心理士 2名
（特別支援教育） 発達相談	子どもの発達に関すること ・発達が遅いのではないか ・こだわりが強い ・落ち着きがない ・特定の学習が苦手である 等	上に同じ	月～水曜日、 土曜日 9時～18時 （土は17時まで）	・臨床心理士1名 ・特別支援教育士 1名
ことばの支援室	ことばに関すること ・発音が気になる ・ことばの数が少ない ・ことばに詰まる ・吃音がある ・声に問題がある 等	上に同じ	毎週金曜日と 隔週水曜日の 午後	・言語聴覚士 1名

☆以上は、あくまで参考例です。事例によって相談内容は一律ではありません。

カリセン耳より情報

その1



カリセン（授業力向上（カリキュラム）支援センター）では、**約7000冊**の図書や**15種類**の雑誌を準備しています。**2週間**の貸出もできます。現在の教育課題に対応したもの、話題のものを中心に整備を進めているので、ぜひご活用ください。設置している「ご意見箱」に希望をお寄せいただければ、できるだけ整備していきます。

【新着図書・雑誌の紹介】 ※ごく一部です。ぜひ足を運んで見てください。

カンタン劇遊びー世界の昔話（高見 のっぽ、古家 貴代美 著）
坪田耕三の算数授業のつくり方（坪田 耕三 著）
生徒指導10の原理・100の原則 気になる子にも指導が通る110のメソッド（堀 裕嗣 著）
若手教師がヒヤッとした！80場面のトラブル解決術（釘持 勉 著）
健（幼稚園～高校養護教諭向け雑誌） ※H24から購読

特別支援教育豆知識 その4

ワーキングメモリー(短期記憶)とは…

記憶の中でも、単語や数字などを一度に覚えておくことを「短期記憶（ワーキングメモリー）」といいます。

「ああでもない、こうでもない」と比較したり、「〇〇をしてから、××をして…」と段取りをしたりするときに、私たちは頭の中で、この「ワーキングメモリー」を働かせています。

この「ワーキングメモリー」は、子どもでは1歳は1語、2歳は2語、…、7歳で7語と大人並みの短期記憶ができるよう発達します。（大人は7±2個くらいの数字を一度に覚えられるといわれています。）

「ワーキングメモリー」の弱い子どもに

「廊下を走ったら、人にぶつかって、怪我をするから、走ったら、ダメ！」とたくさんのことばを一度に言うとうわらない可能性があります。

また、難しいことにチャレンジするときにも、この「ワーキングメモリー」を使っています。頑張るためには、「上手にできる自分」を頭の中でイメージすることが必要なのです。

このように、「頑張れない」「我慢できない」ということの原因に「ワーキングメモリー」の弱さがあることも考えられます。

「ワーキングメモリー」の弱い子どもには、文字や絵、図、写真、動画などを用いると理解力が増します。

授業等でも、子どもたちの「ワーキングメモリー」を意識して指示を工夫するとわかりやすい授業になっていくのではないのでしょうか。